

小千谷の冬

小千谷市がある新潟県越後地方は、その降雪量の多さと厳しい冬から、「雪国」と呼ばれます。冬には、シベリアからの冷たい風が日本海を渡る際に湿気を拾います。湿気を含んだ空気は新潟の高い山々にぶつかり、同様の緯度の平均をゆうに超える大きな降水量をもたらします。この時期、小千谷と周辺の地域は、さまざまなイベント、冬のお祭り、雪景色を楽しませる野外でのアクティビティのある、冬の行楽地になります。雪の季節は、通常、11月下旬から3月中旬まで続きます。

おぢや風船一揆

2月下旬、2日間にわたって開催される「おぢや風船一揆」では、たくさん色鮮やかな熱気球が雪景色の上を舞います。このお祭りは、競技会場とその他の市外の会場で開催されます。

競技会場では、毎年、日本海カップ・クロスカントリー選手権が開かれ、指定のターゲットまで最も近いところに熱気球を着陸させようと、各チームが競い合います。日本各地から40を超える熱気球チームが集まり、「ヘア・アンド・ハウンド」と呼ばれる試合で競います。「ヘア」(ウサギ)と呼ばれる最初に出発した気球が、出発地点からある程度離れた場所に着陸し、印をつけたターゲットを設定します。「ハウンド」(猟犬)と呼ばれる他のチームも気球を飛ばし、ターゲットにできる限り近い場所への着陸を目指します。ターゲットに最も近い「ハウンド」が、最高得点を獲得します。これを3回繰り返し、合計点が最も高かったチームが優勝となります。

他の会場では、訪れた人が熱気球に試乗できます。また、屋台では、ラーメンやさつまいもプリンなど、心のこもったごちそうをお出ししています。このお祭りでは、小さな手作りの「ぼこ」と呼ばれる紙の気球が空に飛ばされます。このお祭りの見どころの1つは、夜の「グローバルーン」フェスティバルで、輝く花火を背景に熱気球がライトアップされます。

山谷・坪野ほんやら洞祭り

2月上旬に開催される山谷・坪野ほんやら洞祭りでは、ほんやら洞と呼ばれる小さなかまくら約5,000個がろうそくの灯で照らし出され、魅力的な景色が生まれます。訪れる人は、自分のかまくらを作ってみることもでき、たくさんの屋台の1つでへぎそばなど地元の美味を楽しむこともできます。山谷・坪野ほんやら洞祭りは、山谷地区で開催されます。

冬の他のアクティビティ

スノーチューブ、スノーモービル、そり滑りなど、この地域では冬中楽しむことのできる多くのアクティビティがあります。小千谷南部にある標高336メートルの山本山高原は、冬になると一面の厚い雪で覆われ、スノーシュートレッキングに理想的な場所となります。